

# 道徳科研究部報

令和6年7月4日  
浜松市教育研究会道徳科研究部  
第2回研修会の御案内

夏の日差しが降りそそいでくる時期になってまいりました。  
皆様には、第1回の研修会に参加していただき、ありがとうございました。  
今回の道徳科研究部報では、4月の主任者会と第1回研修会の講話内容の報告、第2回研修会の案内をさせていただきます。

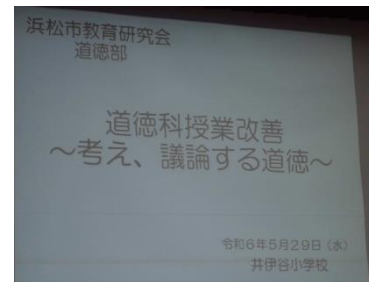


【主任者会】4月12日（金）

講話 「道徳科授業改善 ～さらに一歩前へ～」

浜松市教育センター 鈴木 千晶 指導主事

- ここ数年で変わってきたと感ずること
  - ・自分の常識や当たり前は、誰にとってもそうなのか
  - ・ICT化、対話、生活との結びつき
- 学習指導要領で求められている「道徳科で育てたい子供」とは
  - ・道徳性を身に付けた子供
  - ・自己との関りで多面的・多角的に考えられる子供
- 授業作りについて
  - ・対話を通して考え、議論する道徳の授業
  - ・子供が語る、子供がよく考える授業
  - ・教師のファシリテーション能力を高めた授業  
(誰の意見に注目させるのか、どこを子供たちに委ねるのか、子供の反応の予測)



【第1回研修会】5月29日(水)

1 研修計画

〈令和6年度 浜松市教育研究会 研修テーマ〉  
「愛情と情熱を持って学び続け 未来を拓き生き抜く力を育てよう」

〈道徳研究部 研究テーマ〉  
「自分らしさを大切に、ともによりよく生きる子供を育む道徳教育  
～考え、討論する 道徳科の授業 を核に～」



2 講話「道徳授業改善～考え、議論する道徳～」

浜松市教育センター 鈴木 千晶 指導主事

(1)日頃の課題と、目標(ねらい)の明確化

- ・多数の意見に流される、多様な意見が出てこない、別葉の意味について
- ・生活や経験の差を踏まえる、教材で教える、明確な意図をもつ

(2) 考える道徳授業をするために

- ・ 発問を工夫する
- ・ 自分自身の経験を想起しながら考えられる手立ての工夫

(3) 道徳科と道徳教育の関係について

- ・ 実践、行為は含まない内面的資質→心に働きかける→道徳科
- ・ 実践、行為も含む→行為を見取り、直接的な指導→道徳教育

## 第2回研修会について

1 日時 令和6年8月5日(月) 9:30~11:30(16:30)

2 場所 可美公園総合センター

浜松市南区増楽町920-2 TEL053-449-1155

3 日程

9:00~ 受付

9:30~ 開会

9:45~11:15

講話 「深い学びを実現する道徳科の授業づくり」

講師 畿央大学 教授 島 恒生 氏

11:15~11:25 質疑応答

11:30 閉会

13:00~16:30 授業づくり相談

(参加者: 授業校主任・授業者及び、運営委員、研究部組織メンバー)

4 その他

○後日、ミライムアンケートで、出欠確認をします。

○駐車場は、各校1台です。

○持ち物は以下の通りです。

・ 学習指導要領解説 特別の教科 道徳編(自分の校種のもの)

・ 後日ミライムで配布する資料をプリントアウトしたもの

○午後の「授業づくり相談」に参加される方は、後日ブロック長から送られる授業構想シートに、中心発問を考え、御持参ください。また、2学期の研修会の日程を決めますので、御自分の予定が分かるものをお持ちください。